



◆国民年金保険料の納付は口座振替・前納がお得です

国民年金保険料の納付には、一定期間まとめて納付することによりお得な割引があります。

納付方法は、現金（納付書）納付のほか、クレジットカード、口座振替による方法もあります。

口座振替の場合、現金やクレジットカードで納めるよりも割引額が大きく、一番お得な納付方法となっています。

口座振替の申込みは①基礎年金番号の分かるもの、②口座番号の分かるもの、③届出印（通帳に使っている印鑑）を持参の上、通帳の金融機関又は役場住民課戸籍年金医療グループにお越し下さい。

【納付方法別の納付額：令和4年度の例】（ ）内の金額が割引額です。

	現金・クレジットカード	口座振替	申込期限
通常納付（翌月振替・納付）	16,590 円	16,590 円	
早割（当月末振替）		16,540 円	
6カ月前納（4月～9月）	98,730 円 （▲810 円）	98,410 円 （▲1,130 円）	令和4年2月末日
〃（10月～翌年3月）			令和4年8月末日
1年前納	195,550 円 （▲3,530 円）	194,910 円 （▲4,170 円）	令和4年2月末日
2年前納（令和4・5年度）	382,780 円 （▲14,540 円）	381,530 円 （▲15,790 円）	令和4年2月末日

令和5年度保険料に係る口座振替での前納の申込は、早めの手続きをお願いします。

※保険料は毎年度変わります。

◆失業給付・高年齢雇用継続給付を受けること

65歳になるまでの年金（特別支給の老齢厚生年金・繰上げ支給の老齢厚生年金（報酬比例部分）・特別支給の退職共済年金）を受けられる方が、雇用保険等の給付（失業給付又は高年齢雇用継続給付）を受けるとき、年金の全部又は一部が支給停止されます。

●基本手当との調整

年金を受けている方が、ハローワークで求職の申込みをする、実際に失業給付（雇用保険法の基本手当）を受けたかどうかには関係なく、求職の申込みをした月の翌月から受給が終了するまでの間、加給年金額も含めて年金が全額支給停止されます。

●高年齢雇用継続給付との調整

年金を受けている方が、厚生年金保険の被保険者である月に高年齢雇用継続給付（雇用保険法の高年齢雇用継続基本給付金・高年齢再就職給付金）を受けると、在職による年金の停止に加えて、さらに年金の一部が支給停止されます。

●手続き

雇用保険等の給付と年金との調整のための届出は、原則、不要です。ただし、年金請求時に雇用保険被保険者番号をお持ちでなかった場合や、「年金を受け取る権利が発生した日」と「求職の申込みをした日又は高年齢雇用継続給付を受けられるようになった日」が、ともに平成25年10月1日より前の場合は、「老齢厚生・退職共済年金受給権者支給停止事由該当届」の提出が必要になります。



◇お問い合わせ先

住民課戸籍年金医療グループ
電話 26-9026
日本年金機構 旭川年金事務所
電話 0166-25-5606
全国共通予約専用受付ダイヤル
電話 0570-05-4890